

成器堂での教科の中心は漢学（主に儒学）であった。ここでは、藩士教育の中核を儒学に置いていた。当時は、学問と言えば孔子、孟子などの思想を学ぶ儒教を研究する儒学を指すものであり、いずれの藩校においても孔子を祀っていた。

積奠とは孔子を祀る典礼で、犠牲（羊など）・蔬菜を供えて爵（三本足の酒器）を薦めて祭る意で、一月、八月の上の丁の日に行う行事である。日本では文武天皇（七〇一〜七〇四）のときに始まったという。江戸幕府はこれを復興して、幕府の学校である昌平黌の典礼として行った。現在も、学校があった湯島聖堂（国史蹟）で、毎年四月の第四日曜日に「元佐賀藩の多久聖廟（重文）」では、春秋二回連綿と積奠（積奠を簡略にしたもの）を行っている。

勝山藩では、嘉永五年（一八五二）二月、藩主の命で安田桃之助（甫）が江戸に遊学し、儒学者芳野金陵について、昌平黌の聖堂において積奠の儀式を学んだ。帰藩の際に、現在勝山市教育委員会に所蔵されている孔子の銅像一体を拝領し、成器堂の

歴史の散歩道 (137)

孔子像を祀り 積奠を行っていた成器堂

講堂に安置した。安政元年（一八五四）から毎年五月二十日に安田甫主宰のもとに様々なお供えをし、雅楽を奏して盛大に執行していた。式が終わると、塾生（成器堂）には赤飯が、藩主と大夫・諸官には膳（供えたあぶり肉）が配られた。

文化財保護委員 増田公輔
参考資料「勝山藩古事記」「日本教育史資料」「史跡湯島聖堂」



「孔子像」勝山市有形文化財（平成三年指定）。市教育委員会に保管。孔子は中国春秋時代の思想家・学者。明の遺臣朱舜水が万治二年（一六五九）に日本に亡命したときに携えてきた三体の孔子像のうち、現在伝習館高等学校所蔵の孔子像の姿をとっており、冠を付け両手を組んでいる。六角形の台座の隅に鬼童子（聖人の徳に感じて現れるという聖獣）が鎮座する。銅製の台座共の一体鑄造、像高二〇・

平泉寺世界遺産講演会2012

とき 3月17日(土)
午後1時30分～
ところ 教育会館 ホール
講演 中井 均氏（滋賀県立大学准教授）
「白山平泉寺とその時代」
対談 中井 均氏
松浦 義則氏（福井大学特命教授）
※聴講無料

ユネスコ前事務局長 松浦晃一郎氏 講演会

—白山・平泉寺の世界遺産登録に向けて—

とき 4月17日(火)
午後6時30分～
ところ 勝山ニューホテル
講演 松浦 晃一郎氏



対談 松浦 晃一郎氏
山岸 正裕 勝山市長
※聴講無料
※定員200人（要申込）
史蹟整備課（教育会館2階）☎88-8113

東山いこいの森 岩屋オートキャンプ場 利用申込受付

東山いこいの森
利用期間▶4月20日（金）～11月20日（火）
受付開始▶4月1日（日）午前8時30分～
※4月1日の午前10時までは林業振興課に、それ以降は東山いこいの森にお申し込みください
☎・📍 林業振興課（市役所1階）
☎88-8121
東山いこいの森 ☎83-1347

岩屋オートキャンプ場
利用期間▶5月1日（火）～11月10日（土）
受付開始▶4月2日（月）午前8時30分～
※土・日・祝日は除く
※4月27日（金）までは観光政策課に、それ以降は岩屋オートキャンプ場にお申し込みください
☎・📍 観光政策課（市役所2階）
☎88-8117
岩屋オートキャンプ場
☎89-3450

両施設とも、受け付け初日は、市役所1階第4会議室で受け付けます。



水道料金表（抜粋） (税別)

メーター口径	基本料金10㎡まで		超過料金 1㎡につき							
	H23年度	H24年度～	H23年度	H24年度	H23年度	H24年度				
13ミリ	1,100円	1,150円	11～30㎡	113円	31～50㎡	128円	51～100㎡	130円	101㎡～	155円
20ミリ	1,250円	1,300円	11～30㎡	120円	31～50㎡	135円	51～100㎡	140円	101㎡～	165円
25ミリ	1,450円	1,500円								
40ミリ	1,650円	1,700円								

H23年度：平成24年4月検針分（3月使用分）まで
H24年度：平成24年5月検針分（4月使用分）から

☎88-8109 上下水道課（市民会館2階）

平成24年4月使用分から水道料金を左記料金表のとおり改定します。水道使用者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

平成24年4月使用分から水道料金が変わります

一般図書

「ニッポンのここがスゴイ！」
堤 和彦／著
武田ランダムハウスジャパン
NHK-BS1の人気番組「COOL JAPAN」のプロデューサーによる日本文化論。番組の中で語られた外国人の言葉を紹介しながら、日本文化の素晴らしさを再発見する。

中高生図書

「10代の本棚」こんな本に会いたい
あさの あつこ／編著
岩波書店
作家のあさのあつこをはじめとする13人の個性豊かな大人たちが綴る「10代の私」と「本」の物語。本との出会いや、その頃の心情やエピソードも交えて語る。

おすすめ図書

こども図書

「図解 東京スカイツリーのしくみ」
NHK出版／編
高さ634メートルの電波塔「東京スカイツリー」。地震など揺れへの対策をはじめ、超高層建築完成までの過程を子どもにもわかるよう写真とイラストで説明する。

「小澤征爾さんと、音楽について話をする」
小澤征爾・村上春樹／共著
新潮社
カーネギー・ホールでの劇的な復活コンサート、若い世代へと繋いでゆくもの。著者が、不世出の指揮者小澤征爾の煌めく魂に触れた迫真のロングインタビュー。

「14歳のための時間論」
佐治 晴夫／著
春秋社
「過去という時間」はどこに行ったの？ どうして「時間」は見えないの？ 一生を通じて心臓が打つ回数は？ など「時間」の不思議さをやさしく解き明かす。

「星どろぼう」
アーノルド・ローベル／え
ほるぶ出版
どろぼうは空にはしごをかけ、空の星を全部盗んでしまいました。星がひとつもなくなった夜空には、月がぼつんと光っているだけ。さて、このどろぼうはどうやって捕まり、盗まれた星はどのように空へ戻ったのでしょうか。